



令和3年度 燕市下水道事業会計当初予算の概要

燕市汚水処理施設整備構想に基づき、集合処理区域の令和10年度概成を目指します

新潟県燕市



燕市デザインマンホール蓋

●業務の予定量（第2条）

区 分	令和3年度		令和2年度		比 較	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
(1) 年間有収水量	3,424,840 m ³		3,225,458 m ³		199,382 m ³	6.2 %
(2) 一日平均有収水量	9,383 m ³		8,837 m ³		546 m ³	6.2 %
(3) 主要な建設改良事業	649,700 千円		762,700 千円		▲ 113,000 千円	▲ 14.8 %
公共下水道の整備(未普及対策)事業	574,000 千円		551,700 千円		22,300 千円	4.0 %
本町排水区(合流)管路施設改築更新事業	75,700 千円		211,000 千円		▲ 135,300 千円	▲ 64.1 %

●収益的収入及び支出（第3条）

【収入】

款 項	令和3年度		令和2年度	
	予定額(千円)	構成比(%)	予定額(千円)	構成比(%)
第1款 下水道事業収益	2,330,364	100.0	2,167,697	100.0
第1項 営業収益	798,439	34.3	635,312	29.3
第2項 営業外収益	1,531,925	65.7	1,532,385	70.7

【支出】

款 項	令和3年度		令和2年度	
	予定額(千円)	構成比(%)	予定額(千円)	構成比(%)
第1款 下水道事業費用	2,146,145	100.0	2,156,642	100.0
第1項 営業費用	1,866,900	87.0	1,852,532	85.9
第2項 営業外費用	278,435	13.0	297,711	13.8
第3項 特別損失	10	0.0	5,599	0.3
第4項 予備費	800	0.0	800	0.0

●資本的収入及び支出（第4条）

【収入】

款 項	令和3年度		令和2年度	
	予定額(千円)	構成比(%)	予定額(千円)	構成比(%)
第1款 資本的収入	2,136,051	100.0	2,668,786	100.0
第1項 企業債	1,680,000	78.6	1,599,460	59.9
第2項 他会計負担金	66,668	3.1	66,646	2.5
第3項 他会計補助金	213,623	10.0	759,493	28.4
第4項 国県補助金	136,350	6.4	196,500	7.4
第5項 負担金	29,410	1.4	36,687	1.4
第6項 預託金償還金	10,000	0.5	10,000	0.4

【支出】

款 項	令和3年度		令和2年度	
	予定額(千円)	構成比(%)	予定額(千円)	構成比(%)
第1款 資本的支出	3,087,029	100.0	3,029,995	100.0
第1項 建設改良費	776,607	25.2	875,799	28.9
第2項 企業債償還金	2,300,422	74.5	2,144,196	70.8
第3項 預託金	10,000	0.3	10,000	0.3

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 9億5,098万円は、減価償却費で留保された資金などで補てんします。

<当初予算の概要>

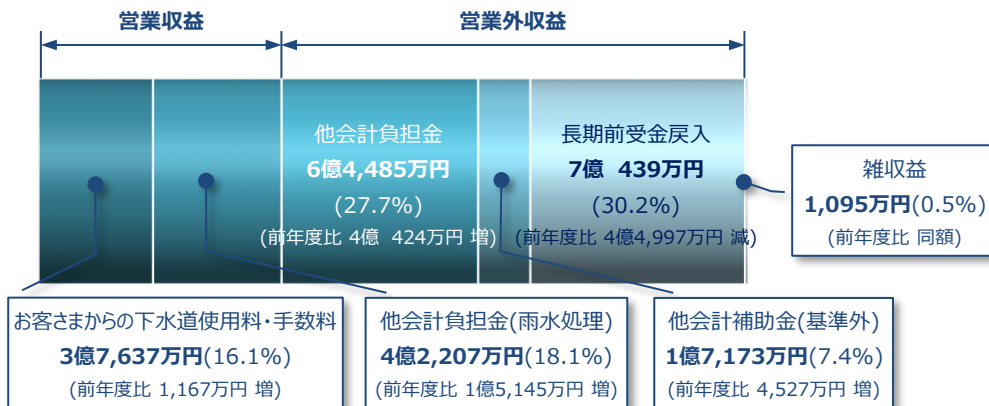
1. 予算規模

総事業費 **52 億 3,318 万円** 前年度比 4,654万円 増

企業債償還金が大幅に増額となることから、建設改良費を抑制した予算編成を行いました。

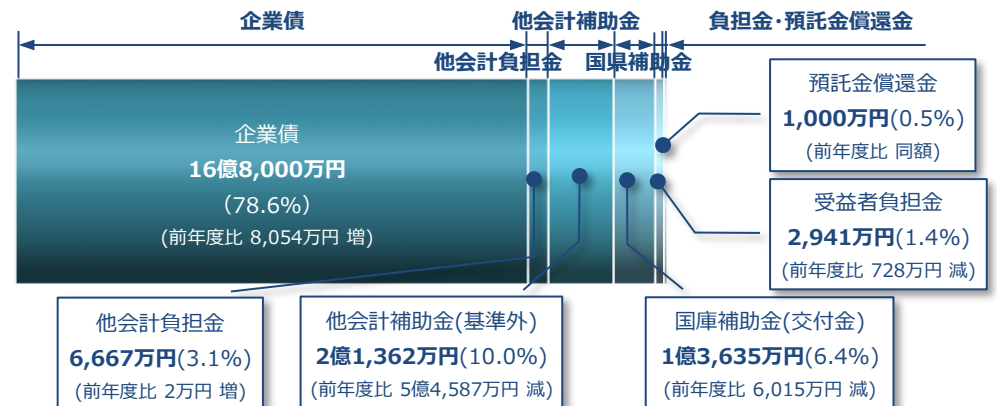
下水を集め、処理するための予算 (収益的収支)

収入 **23 億 3,036 万円** (下水道事業収益)



下水道施設をつくるための予算 (資本的収支)

収入 **21 億 3,605 万円** (資本的収入)



※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 9億5,098万円は、減価償却費で留保された資金などで補てんします。

2. 主な建設事業

公共下水道の整備（未普及対策）事業

【計画期間】 令和元年度 ～ 令和10年度

燕市汚水処理施設整備構想に基づき、集合処理区域として位置づけられた区域の下水道を令和元年度から10年間で、効率的に整備します。

予算額 **5億7,400万円** 前年度比 2,230万円 増

(国の社会資本整備総合交付金 9,800万円を活用)

【事業内容】

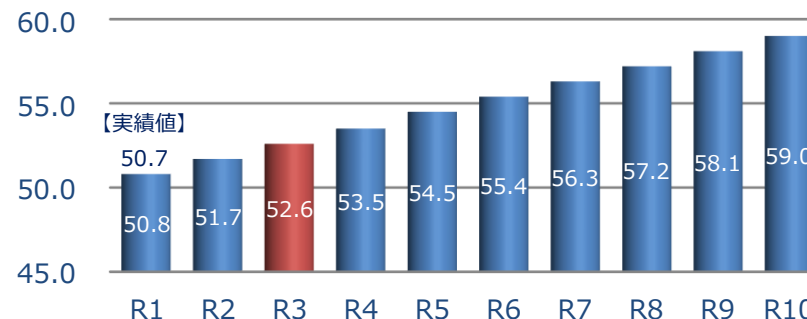
	事業費
● 下水道管渠工事	4億4,200万円
● 測量設計業務委託	8,600万円
● 工事に伴うガス導管・水道管等移設補償	4,600万円



【増減内訳】

- 下水道管渠工事費 5,370万円の減
- 測量設計業務委託 6,100万円の増
- 工事に伴うガス導管・水道管等移設補償 1,500万円の増

下水道処理人口普及率(%)【目標値】



※汚水処理施設整備構想に基づいた、令和10年度に概成させる集合処理区域の普及率 59.0%は、燕市の下水道処理人口普及率100%に相当するものです。

本町排水区（合流）管路施設改築更新事業

【計画期間】 平成26年度 ～ 令和10年度

本町排水区における下水道管の老朽化による機能障害を防止するため、ストックマネジメント計画に基づき、幹線下水道管の改修を行います。

予算額 **7,570万円** 前年度比 1億3,530万円 減

(国の防災・安全交付金 3,285万円を活用)

【事業内容】

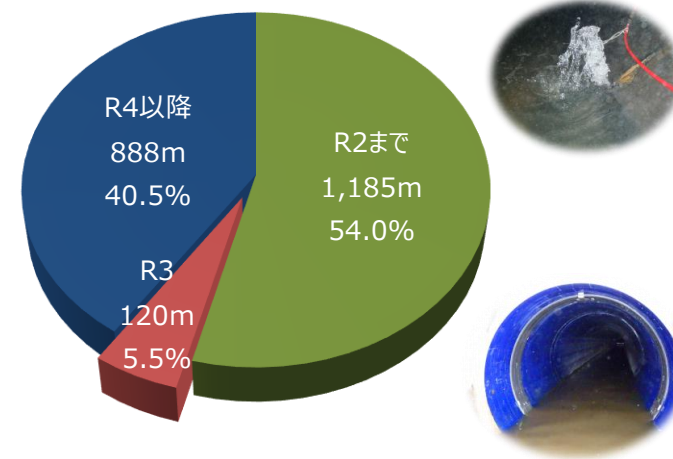
	事業費
● 本町排水区（合流）管渠更新工事（事業延長 120m）	7,500万円
● 本町排水区（合流）管渠更新工事特別単価調査業務委託	70万円

【増減内訳】

- 本町排水区（合流）管渠更新工事 1億3,500万円の減
- 本町排水区（合流）管渠更新工事特別単価調査業務委託 30万円の減

全事業延長

2,193m



3. 下水道施設の適正管理

下水終末処理場の在り方についての検討業務

【計画期間】 令和3年度

新潟県の「広域化・共同化計画」策定検討に伴い、燕市下水終末処理場の老朽化などの問題に対して「広域化・共同化」の可能性を検討します。

予算額 **1,100** 万円 新規事業
(国の社会資本整備総合交付金 550万円を活用)

【事業内容】	事業費
●比較検討業務委託	1,100万円

●企業債（第5条） 前年度比 8,054万円 増

起債 の目的と限度額は、	公共下水道事業債	5 億 4,600 万円	
	資本費平準化債	2 億 5,000 万円	
	借換債	8 億 8,400 万円	計 16 億 8,000 万円

●一時借入金（第6条） 前年度比 同額

一時借入金 の限度額は、 **20** 億円

●予定支出の各項の経費の金額の流用（第7条）

各項に計上した予定額に過不足を生じた場合 …… 同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

● **議会の議決を経なければ流用することのできない経費**（第8条） 前年度比 764万3千円 減

職員給与費 1 億 508 万 3 千円

● **他会計からの補助金**（第9条） 前年度比 5億 59万7千円 減

下水道事業運営のため、補助を受ける金額は、3 億 8,535 万 2 千円（一般会計からの補助）

● **利益剰余金の処分**（第10条） 前年度比 1億4,712万9千円 増

減債積立金 1 億 4,831 万 2 千円（当年度利益剰余金）